

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2020年本屋大賞

本屋大賞

ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『線は、僕を描く』

砥上裕将◆講談社

『店長がバカすぎて』

早見和真◆角川春樹事務所

『夏物語』

川上未映子◆文藝春秋

『熱源』

川越宗一◆文藝春秋

『ノースライト』

横山秀夫◆新潮社

『むかしむかしあるところに、死体がありました。』

青柳碧人◆双葉社

『ムゲンのi』

知念実希人◆双葉社

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』

相沢沙呼◆講談社

『ライオンのおやつ』

小川糸◆ポプラ社

『流浪の月』

凧良ゆう◆東京創元社

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は18年12月1日から19年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)

Supported by

NOLTY® PAGEM
ノルティ ペイジエム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。